



【日だまりの会】

和気あいあい
健康年齢up!

子ども太鼓の
復活を願って



【子ども会】

元気いっぱい
子どもは地域の宝

本がいっぱい
笑顔いっぱい



【おひさまほのぼの文庫】



【祭保存会】

2015年（一次計画策定時）

《人口構成》

（平成27年2月28日現在）

	0~4歳	5~19歳	20~39歳	40~64歳	65歳以上	合計
人数	55人	227人	310人	551人	543人	1,686人
構成率	3.3%	13.5%	18.4%	32.7%	32.2%	

※四捨五入の関係上100%になりません

出典/彦根市学区別5歳階級別人口統計表

《世帯数・高齢化率》

（平成27年2月28日現在）

世帯数	629世帯	高齢化率	32.2%
-----	-------	------	-------

出典/彦根市

2022年

《人口構成》

（令和4年2月3日現在）

	0~4歳	5~19歳	20~39歳	40~64歳	65歳以上	合計
人数	36人	183人	248人	497人	569人	1,533人
構成率	2.3%	11.7%	15.9%	32%	37.1%	

※四捨五入の関係上100%になりません

出典/彦根市住民記録年齢別人口集計表

《世帯数・高齢化率》

（令和4年2月3日現在）

世帯数	650世帯	高齢化率	37.1%
-----	-------	------	-------

出典/彦根市

第二次日夏地区住民福祉活動計画

策定・編集：日夏地区住民福祉活動実践推進会議

発行：社会福祉法人彦根市社会福祉協議会

この計画書は、「赤い羽根共同募金」の助成金で作成しています

2022>>>2026

計画の期間/この計画は、2022年度から2026年度の間で取り組むものです。

ひとりひとりを大切に なごみあう つながりのある町

第二次

日夏地区
住民福祉
活動計画

こんな思いをこめた合言葉で
誰もが幸せと安心を実感できる
まちづくりをめざします

ここに生きるすべての人
一人ひとりを大切にして
お互いに心や気持ちを
ゆったり和やかにしあう
そんなつながりのある町でありたい



【文化祭】



【敬老会】



【防災運動会】



【唐崎神社 春祭り】

日夏町の行事

※掲載画像はほんの一部です、裏面にも掲載されています

第二次 日夏地区住民福祉活動計画



とりひとりを大切に



ごみあう



ながりのある町

— 誰もが幸せに安心して暮らせるまち 日夏をめざして —

第二次日夏地区住民福祉活動計画は、誰もが安心して心豊かに暮らせる福祉のまちづくりについて、みんなで考え、進めていくための道標となるものです。

福祉活動やまちづくりに携わる住民の方々にご参加いただき、みなさんの声や思いをもとにつくりました。

みなさんの声

日夏の誇りとする良いところは、こんなこと

- いざというときには団結力がある
- 自主的に地域のために働く人たちがいる
- 伝統の良さは残しながらも、暮らしの移り変わりに応じて見直したり改善したりしながら、文化や伝統行事を大切に継承してきた
- 地域に恩返しするという意識をもちたい
- 昔からの団体が解散していくことで交流が少なくなったけど、それに替わる新しい何かを考えていきたい
- やっぱり、人と人とのつながりがいちばんや

けど、こんなことが心配

- 隣近所のつきあいが、希薄化してきた
- 認知症の方のことが心配やけど、声をかけるのはお節介かと躊躇してしまう
- 地域活動に参加する人が少なくなって、組織の維持がしんどくなってきた
- 昼間は高齢者ばかりなのに、何かあったらどうしたらいいんやろ
- 人が集まる場所・機会がもっとあったらいいのになあ

「このまちが好き」

地域を思う心を育もう

- 伝統や文化を大切に、地域の行事に進んで参加しよう
- まちの歴史やエピソードを若者や子どもたちに伝えていこう
- ホタルや魚が住む、水に恵まれた美しい自然を守っていこう

みんなの参加で 地域の活動を進めていこう

- 地域に関わろうという意識を育てよう
 - 世代を越えて、みんなが気軽に集える場をつくろう
 - 今ある活動を伸ばし、続けていこう
- ・既存の枠に捉われない、新しい住民参加活動の創出も考えてみよう
- ・“無理なく、楽しみながら、継続できるかたち”を見出していこう

ご近所のつながりで 地域の力を高めよう

- あいさつや声かけから始まる、顔の見える関係づくりに努めよう
- 互いを認め合い、一人ひとりの存在を尊重しよう
- ちょっとした手助けをお願いしたりされたりできる“おたがいさん”の関係を築こう
- 子どもたちの安全を守り、健やかな成長を育もう
- 日頃の支えあいで、災害にも強さを発揮する安心・安全の地域をめざそう

